

第 8 次 広田地区福祉計画（平成 27 年度～32 年度）

広田分区の今後の目標について

広田分区
分区長 黒田彰夫

はじめに

西宮市社会福祉協議会第 8 次地域福祉推進計画では地域福祉目標として「みんなで創り出す共生のまちづくり」をあげています。そして 4 つの推進目標を掲げ具体的な活動の展開を図っています。要約すれば

- ① 安心な町づくりのため、つどう場つながり合う場づくりを行い 支え合い活動を目的とする地域の福祉基盤づくりをする。
- ② 地区のボランティアセンターの充実や全市域的総合相談支援体制やネットワークづくり
- ③ これらの活動に向けての土壌づくりとして福祉学習の推進や人材の発掘、育成を進める。

広田分区での取り組み

これを受けて基本的には従来の活動を進めながら、この地域福祉推進計画にいうような幅広い地域活動を行うには、下記図のような流れで基盤整備が重要である。

従来も同じように話し合いの場を広げてきているが更に発展させるには、この目的に沿って幅広く基礎から作業を進めていく。

地域活動を行っている諸団体との接触、連携。多世代間の交流の場づくりと話し合い。専門家の協力など



人材の発掘と育成・組織化



地域活動の具体的テーマの設定と行動へ

～ゆっくりと確実に分区の皆さんのアイデアと
話し合いによって進めていきましょう～